

# 通級による指導終了の過程

		チェック項目
1 担当者との連携	<input type="checkbox"/> /	<b>通級による指導の評価・修正（担当者）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>適宜，長期目標（指導開始時もしくは1年間の目標）と短期目標・指導内容を検討し，校内委員会（個別ケース会）や教育相談を通じて，PDCAサイクルによる通級による指導の評価・修正を行う。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> /	<b>校内委員会の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「在籍学級での指導・支援」「環境整備」の充実を図るため，適宜，PDCAサイクルによる在籍学級における個別の指導計画の評価・修正を行う。</li> <li>（連携計画に基づく担当者との個別ケース会を実施する際に，在籍学級における個別の指導計画の評価・修正を行うと効率化が図られる。）</li> <li>LD等通級指導教室との連携の下，個別の指導計画の評価・修正に加え，通級による指導の継続，もしくは終了の判断を行う。</li> <li>児童に意欲や自信の芽生え，通級による指導の長期目標に近づきつつある段階において，通級による指導終了への道筋をスモールステップで進める。</li> <li>（指導終了後においても在籍学級での指導・支援の継続，及び必要に応じた担当者による授業観察や保護者面談などを実施することを共有する。）</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> /	<b>保護者面談の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々変化する児童の姿について教育相談を通じ共有し，PDCAサイクルによる個別の指導計画の評価・修正を行う。</li> <li>指導終了に向けた道筋を校内委員会で検討し始めた段階において，終了への見通しがもてるよう，教育相談を行う。具体的には，保護者の思いや願いを聞き取ったり，指導終了への道筋を提示したりといったスモールステップで進めていく。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> /	<b>児童面談の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導終了に向けて，児童面談を実施する。</li> <li>（管理職もしくは学級担任，更には保護者が同席することも有効な手立ての一つである。）</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> /	<b>通級による指導終了の判断</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内委員会での同意，保護者了解の上で，通級による指導終了の判断をする。</li> </ul>
2 事務的な手続き	<input type="checkbox"/> /	<b>就学相談終了届の作成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学相談終了申出書（イントラネット内にある様式4の2）を記入例に沿って作成し，総合育成支援課へ提出する。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> /	<b>通級による指導の記録の作成（担当者）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>通級による指導の記録（イントラネット内にある様式D）を記入例に沿って作成し，在籍校へ報告・提出する。</li> <li>※通級による指導の記録は，在籍校が保管する。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> /	<b>指導要録への記載</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>通級による指導の記録を基に，指導要録へ通級による指導を受けた学校名，指導時数，指導期間，指導内容と結果などを記載する。</li> </ul>
3 その後	<input type="checkbox"/> /	<b>校内委員会（個別ケース会）の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルによる在籍学級における個別の指導計画の評価・修正を行う。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> /	<b>授業観察の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて，担当者を含めた授業観察を行う（校内委員会や保護者面談前に実施することが望ましい）。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> /	<b>保護者面談の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて，担当者を含めた保護者面談を開催し，指導終了後の家庭での様子を含め実態把握を行う。</li> </ul>

## 個別ケース会の進め方（指導終了時）


### ○個別ケース会の目的

- ・PDCAサイクルに基づく、個別の指導計画の評価・修正を行い、指導終了に備える。  
（具体的には、現状の共有と目標の評価を行い、通級による指導終了に向けた在籍学級における指導・支援の検討をする。）
- ・通級による指導終了後の流れを確認する。

### ○構成メンバー

- ・管理職（校長もしくは教頭）
- ・総合育成支援教育主任（コーディネーター）
- ・学級担任
- ・LD等通級指導教室担当者
- ・その他（状況に応じて、教務主任、生徒指導主任、養護教諭、学年主任などが参加する。）

### ○流れ

	内 容	主 体 者
事前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時、参加者の連絡・調整</li> <li>・個別の指導計画及び必要な情報の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合育成支援教育主任及び担当者</li> <li>・学級担任及び担当者</li> </ul>
ケース会	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 個別ケース会の目的と進め方の確認</li> <li>② 短期目標の評価と現状の共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級（家庭）での様子の情報提示</li> <li>・LD等通級指導教室での情報提示</li> </ul> </li> <li>③ 子どもの困りの共有</li> <li>④ 今後に向けての検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通級による指導の終了の検討</li> <li>・在籍学級における短期目標や指導・支援の検討</li> <li>・終了に向けた流れの確認及び今後の予定</li> </ul> </li> <li>⑤ 次回の開催時期の確認</li> </ol>	<p>※総合育成支援教育主任が進行役となり、個別ケース会を進める。</p> <p>総合育成支援教育主任 （コーディネーター）</p> <p>学校長 学級担任</p> <p>教務主任</p> <p>LD等通級指導教室担当者</p> 
事後	<p>○保護者面談（通級による指導終了の了解）</p> <p>○児童面談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画の整理（加筆・修正）</li> <li>・職員朝会もしくは職員会議での伝達</li> <li>・就学相談終了届作成及び提出</li> <li>・通級による指導の記録の作成及び提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任及び担当者</li> <li>・学級担任及び担当者</li> <li>・学級担任及び担当者</li> <li>・総合育成支援教育主任</li> <li>・学校長</li> <li>・担当者 → 学校長 → 学級担任</li> </ul>

## ○児 個別ケース会

平成▲▲年▲月▲日

○日 時 平成▲▲年▲月▲日 (▲) ▲ : 〇〇～

○場 所 京都市立▲▲小学校 会議室

○参加者 学校長, ▲▲先生 (学級担任), ▲▲先生 (LD等通級指導教室担当者),  
▲▲ (総合育成支援教育主任; 進行役)

○内 容 ① 個別ケース会の目的と進め方の確認

② 個別の指導計画にある短期目標の評価と現状の共有

・学級 (家庭) での様子の情報提示

・LD等通級指導教室での情報提示

③ 子どもの困りの共有

④ 今後に向けての検討

・通級による指導の終了の検討 ⇒ 

継続	・	終了
----	---	----

・在籍学級における短期目標や具体的な指導・支援の検討

・終了に向けた流れの確認

・今後の予定の共有

⇒ 

指導最終日: 月 日 ( )
----------------

⑤ 次回の開催時期の確認

⇒ 

月 日 ( ) を目途に行う
----------------